

笑顔こぼれる みんなのミニ情報誌

8 月号

ほほえみ Hohoemi

ぽすと Post



プロフェッショナル

こんにちは。近藤です。

先日、日本総合研究所の執行役員・創発戦略センター長であるある井熊均さんと食事をする機会がありました。

中古部品の輸出に当たり、当社の海外顧客や国内の提携先とより協調できる体制を作ろうと取り組んでいるシステムに、同研究所が協力してくれることになりそうなのです。日本総研さんは国内の中古部品ネットワーク開発に関わった経験があるようで、われわれとしてはいろいろ教えてもらい、より便利で使いやすいシステムができることを期待しています。

さて、井熊さんは190cmはあろうかという巨漢。学生時代はボート部に属し、世界選手権に出場したこともあるそうです。

その井熊さんから著作、「プロフェッショナル・サラリーマン」をプレゼントされました。面白い仕事をするための10ポイントを簡潔にまとめられています。そのポイントとは

- ①どのようにして「なりたい自分」になるか。
- ②自分に合うポジションを見つける。それを確認しながら自分を見失わない。
- ③チャンスは自分で仕掛けて誘う。
- ④チームを生かせば自分も光る。
- ⑤自分だけのスピード感を身につける。
- ⑥隙間時間を有効に使い、1日を26時間に。
- ⑦そのままでもいい弱点もある。強みを消す弱点だけ克服しよう。

⑧反復練習で発想力強化。

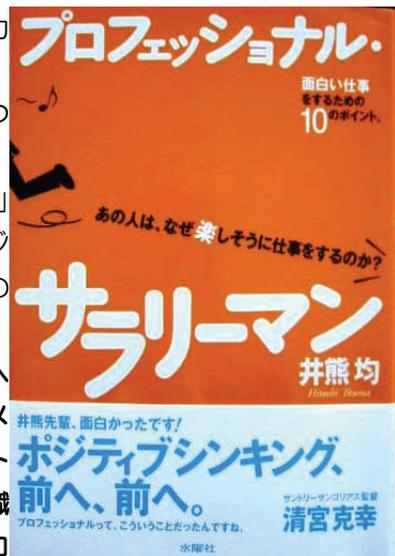
⑨「勝つ」ための三つの心得。

⑩疲れても「回復力」があれば無敵、とビジネス向き「強い体」の養成法を指南。

そして「どこの会社へ行ってもチームのメンバーとしてベストを尽くす」これが組織員としてのプロ

フェッショナルだ、と述べられ、最後には「他人を気づかってこそプロ」。面白い仕事も、サラリーマンとしての能力も、人と人との関係があってこそ価値を生むものであることを忘れてはならない、と結んでいます。

私はこの本を社員全員に読んでもらおうと思っています。それほど価値のある本です。皆様もよければお読みください。下の注文書にご記入して、このページをFAX(076-237-1950)いただければ、当社でお取り寄せして、営業担当者がお持ちいたします。



「プロフェッショナル・サラリーマン」注文書

会社名 :
担当者名 :
住所 :
注文冊数 : 冊 x 1,575円



太陽光発電の費用

自宅の日当たりが良いので太陽光発電にしてみようかと思えます。費用はどれくらいかかりますか？

水で洗い流されるので、日常のメンテナンス費用はほとんどかかりません。

長い年月使用するものですし、ご家庭によって電気の使い方が異なるので一概には言えませんが、初期費用を回収するには20～30年かかると言われています。



07年6月の車両処理実績			
フロンガス	破壊	Kg	330
	再利用	Kg	
エアバッグ	個		380
廃オイル	リットル		8,900
LLC	リットル		5,000
入庫台数	一般	台	1,162
	投棄	台	
処理台数	台		1,151
廃車ガラ量	トン		607

環境にやさしく光熱費が抑えられる太陽光発電は、災害時にも太陽さえ出ているれば非常用電源として使えるので安心です。一般家庭の年間消費電力は約4～5kwで、太陽光発電の設置費用は1kwあたり平均68.4万円。住宅金融公庫には200万円までの融資制度があります。

屋根に取り付ける太陽電池モジュールは20年以上、その他の部品は10年程度の保証期間付きです。メンテナンスは約10年ごとに必要で、費用はおよそ3万円。普通の汚れは雨

今月のクレーム



皆さんこんにちは。今月はクレームのお話は一休み。機能部品の「リビルトパーツ」をご紹介します。さまざまな自動車部品に、エンジン・ミッション・コンプレッサー・ダイナモ・セルモーターなど、機能部品と呼ばれる部品があります。

ドライブシャフト

リビルト部品とはオーバーホール後、消耗部品を交換し再組み付けすることで、性能、品質を新品に近い状態に再生した部品のこと！ もちろん安心の保証付です。

購入戴いた場合は必ず交換部品の返却が必要となります。その返却されたコアを再生しますので、環境に優しい部品でもあるんです。

また会宝産業では軽自動車のリビルト・ドライブシャフトを一律¥8000で常時在庫しております。在庫品は即日納品が可能ですので、是非一度お問い合わせ下さいませ。

会宝産業株式会社 金沢市東蚊爪町1-25
 部品課TEL 076-237-5138
 FAX 076-237-6090
 E-mail kokunai@kaiho.co.jp
 車両課TEL 076-237-5133
 FAX 076-237-1950
 E-mail info@kaiho.co.jp
 営業時間/8:30-18:30 日・祝日休業
<http://www.kaiho.co.jp>



いきいき趣味らいふ

みなさん、廃油の処理はどうしていますか？ 固めて捨てているならちょっと待って！ 廃油で簡単にキャンドルが作れるんですよ。

【材料】 廃油 100ml、廃油凝固剤 6g、クレヨン 2cm、広口びん、たこ糸 約5cm（キャンドルの芯）、割り箸

【作り方】 こした廃油を鍋で温め、細かく刻んだクレヨンを入れて溶かします。溶けたら火を消して廃油凝固剤を入れてかき混ぜ、固まる前に広口びんに移します。たこ糸が広口びんの中心にくるように割り箸ではさんで固定し、冷めて固まったらキャンドルのできあがり！

廃油でつくる 簡単キャンドル



ただし、材料が廃油なのでにおいが気になります。広口ビンに廃油と一緒に好きなアロマオイルを数滴入れるか、少しもったいないですが半分くらいを新しい油にして作るとにおいが気にならなくなります。また、クレヨンは油っぽいもののほうがよく溶けますし、廃油が汚れた色の場合は濃い色のクレヨンにするとしっかりと色が付きます。

キャンドルの火は廃油で作ったとは思えないほど穏やかに、小さく灯ります。窓辺にたくさん並べるといい雰囲気になりますよ。

季節の星ぼし

★星に願いを！ ～ペルセウス座流星群～

毎年7月下旬から8月中旬にかけては、「ペルセウス座流星群」という流星をたくさん見ることが出来ます。とくに今年の8月13日の夜には1時間あたり数十個の流星が流れるそうで、13日の前後でも1時間あたり10個は見えるようです。

安全で暗い場所にレジャーシートを敷いて寝ころび、夜空を広く眺めていると、スーッと星が流れるのが見えます。ちょうど新月が近く空が暗い時期なので、天気がよければよく見えるでしょうし、目が慣れてくると見つけやすくなります。家のベランダなど明るい場所から見るときは、できるだけ周囲の明かりが目に入らないように遮ってくださいね。



お出かけのお供に「マイ箸」

節約玉手箱

マイ箸
持ってます！



「マイ箸（まいばし）」を持ち歩く人を見かけるようになりました。もともとは外食先やお弁当を買った時、割り箸を使い捨てにするのもったいないというエコブームから始まったようですが、今は「自分の箸でご飯を食べたほうが美味しいから」という人も増え、オシャレで自分らしい「マイ箸」にこだわっているようです。たとえばヒノキや竹でできた手になじむもの、漆塗りや黒檀を使った個人的なもの、携帯に便利な半分に折りたためるものなど、箸のデザインも豊富になりました。

レジ袋の有料化が進み「マイバッグ」に関心が集まっています。割り箸はまだ《当たり前のサービス》と思われがちですが、自分でできる小さな節約に気づいた人から意識が変わっていきつつありますね。

色の濃いサングラスでシミができる! ?

メラニン色素は、紫外線を浴びた肌が水ぶくれや炎症を起こさないように防御してくれます。けれど、新陳代謝が低下しているとシミやソバカスの原因になるので、必要以上に増やさないようにしたいものです。ところで、メラニン色素をどのくらい作るか判断するのは肌ではなく、実は“瞳”だそうです。瞳が浴びた紫外線の量から肌のダメージを判断してメラニン色素が作られるのです。

濃い色のサングラスをかけると瞳に届く“光の量”が少なくなります。すると虹彩（こうさい）というカメラの絞りのようなものが開いて、より多くの光を見

ようします。もし紫外線カットのサングラスでなかったら、虹彩の開いた瞳に大量の紫外線が注がれてメラニン色素が増え、結果的にシミができる恐れがあるのです。また、目に紫外線を多く浴び、続けていると白内障になりやすいとも言われています。サングラスを選ぶなら色が薄く、紫外線カットのものがよさそうです



こんなとき ぞーする! ?

年中行事から

冠婚葬祭まで

～ 土用にご用心! ～

「土用」といえば「夏の土用の丑（うし）の日」だと思われていますが、もともとは年に4回、立春・立夏・立秋・立冬前の18日間を指しました。それが今では、「夏の土用」だけが親しまれるようになりました。

今年の土用の丑の日である7月30日にうなぎを召し上がったご家庭も多かったでしょう。土用の丑の日にうなぎを食べる習慣は、江戸時代の学者・平賀源内が近所のうなぎ屋に「本日丑の日」と張り紙をしたことから広まり、今に至るということです。ビタミンAと脂肪の豊富なうなぎを食べて夏バテを防ぐのは理にかなっていますね。他にも土用しじみ、土用餅、土用卵など精の付くものを食べる習慣があったそうです。

ちなみに、うなぎと梅干しは食べ合わせが良くないと言われますが、医学的な根拠はありません。かえって梅干

は胃酸を濃くするので、うなぎの油分の消化を助けてくれます。

土用の頃に気を付けなければいけないのは、「土用波（どようなみ）」と呼ばれる海岸に打ち寄せる大波です。この頃には日本のはるか南の海上で台風が発生し

やすく、日本から遠く離れていても台風の波は日本に押し寄せてきます。沖にある時は目立ちませんが、遠浅の海水浴場では海岸に入ると波が突然高くなり、穏やかな夏空の日でも注意が必要です。

土用は季節の最後にあたるので、「土用明け」の翌日には次の季節が始まります。今年の土用明けは8月7日。そして8月8日は「立秋」で暦の上では秋が始まります。この日からは暑中見舞いではなく、残暑見舞いを出しましょう。

